

昨年8月、町内で合宿を行ったチリ共和国パラカヌー選手団から、東京パラリンピック大会が延期になった現在の練習状況や、大会への思い・加美町へのメッセージが届きました。

パラカヌー選手団からのメッセージ

オリパラ通信 Vol.13



Hola! (オラ!こんにちは)

オラが町

車いすテニスからパラカヌー競技に転向して4年。東京パラリンピック大会の

ロビンソン メンデス選手



東京パラリンピック大会の延期は残念ですが、今の自分出来ること〃を考へながら、毎日を大切に過ごしています。
現在、チリでも不要不急の外出を自粛しているため、川での練習はできませんが、自宅で筋力トレーニングや、カヌー用のマシンで鍛えています。
加美町の皆さまもコロナウイルスに負けないように、みんなで頑張りましょう。

カテリーン ウォラマン選手



すでに大会出場が確定しているカテリーン選手は、前回のリオ大会では4位だったので、次こそ表彰台に上がれるように期待しています。
パラリンピック大会延期については、準備期間が延びた〃とプラスにとらえて、選手がそれぞれの環境でトレーニングをするよう指導しています。

アリエル ルビラル コーチ



出場権獲得に向けて毎日自宅で筋力トレーニングに励んでいます。
来年の合宿で、再び加美町の皆さまにお会いできることを楽しみにしています。

